

第3回食品薬学シンポジウム

日本薬学会・生薬天然物部会主催の上記シンポジウムが平成21年11月12日、13日の両日にわたり村岡修教授を実行委員長として近畿大学11月ホールにおいて開催された。本シンポジウムでは、特別講演2題、招待講演7題、一般講演として口頭発表23題、ポスター発表41題（講演要旨集参照）が行われ287名の参加者があり盛会裏に終わった。また、新しい試みとしてランチョンセミナーを別会場にて設営したが、両日とも定員130名を超える申し込みがあり盛況であった。さらに、日本生薬学会と薬剤師研修センターとの連携で行っている漢方薬生薬薬剤師研修に1日50名の登録があり、薬剤師にとって食品や漢方・生薬の重要性が増していることが伺える。





会場となった近畿大学ノベμβーフォール玄関

1200名収容可能なノベンバーフォールで、最新のデータを満載した講演と活発な質疑応答が行われた



新しい企画のランチオンセミナーは満席の大盛況であった



大フォールのフロアでポスターセッションが行われ活発な質疑応答が交わされた

